

363人力機械を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	12	7~8	当社資材置き場内で、コンテナを当社で再利用するため、コンテナの壁をサンダーで切断作業中、突然サンダーが壁にはじかれ、添えていた左手中指に当たり負傷した。	63	6	30199	1~9
2	2017	11	10~ 11	利用者を1階特別浴室にて入浴業務中、ストレッチャーと本体との間に右手指を挟み負傷したものである。	50	7	130201	50~ 99
3	2017	11	14~ 15	当社工場内において出張作業の準備をしている時、トラックにガレージジャッキ（30~40kg）を積み込もうと持ち上げたところ、腰に激痛が生じた。	43	19	11701	10~ 29
4	2017	10	16~ 17	事務所第二工場トラックヤードで積込作業中のトラック荷台の上で4×8製品を胴巻にて荷締する際、足跡がつかないように安全靴を脱ぎ、裸足で製品の上に乗って作業していたところ、となりの3×6製品の上においてあった締め機が左足親指の上に落ち骨折した。	46	4	11009	10~ 29
5	2017	9	13~ 14	屋外アトラクション施設にて、カヌー船尾キャストとして操船中に右わき腹に痛みが生じたが、筋肉痛と自己判断し、勤務継続。翌日休日のため、安静に過ごしていたが、回復せず欠勤。一週間程度様子を見していたが、痛みが残っていたため、後日社内救護室受診し、外部病院受診となった。	22	19	140302	10000 ~
6	2017	9	16~ 17	地内の空気弁筐修繕工事現場にて、空気弁筐を交換後、堀削したところを碎石で埋戻し転圧していたところ、下層にコンクリートのボックスカルバートがあったことで、転圧機械の	47	6	30209	10~ 29

				ダンバーが跳ね返り、左足親指、人差し指に着地し負傷した。				
7	2017	8	16~17	縫製工場において、縫製資材を準備する工程で、大型ペーパーカッターでマジックテープを切っていた。カッターのレバーを上げてロックがしっかり掛かっていることを確認しないまま、次に切るマジックテープを左手でセットしていたとき、カッターの刃が下りてきて、人差し指・中指・薬指を切った。	23	8	10301	10~29
8	2017	7	22~23	左リヤー前輪トルクロッド取付時の際、取付ボルトの位置を合わせるため、左前輪タイヤの下にジャッキを入れ高さを調整し取付ボルトを入れる時にタイヤの下のジャッキが外れ、左前輪の位置が下がり左手の指が挟まれた。	21	7	80202	30~49
9	2017	7	8~9	遠心クラッチ組立治具（ペダル式）に製品を固定してネジを留める際、ネジが固く力を入れたところ手が滑りバランスを崩してペダルを踏んでしまった。その際、治具と製品の間左手薬指が挟まれ受傷した。	38	7	170209	300~499
10	2017	7	16~17	当社工場にてトラックに積んであるスクラップの荷降ろしのため、ワイヤーを外そうと荷締機（ガッチャ）を緩めて手を放した時緩んだ反動で荷締機が自身の顔の方向へ向かってきて右目に当たり、負傷した。	36	6	11009	10~29
11	2017	7	18~19	荷受場で折りたたんだ状態のカゴ車を所定の位置に戻そうとした際、強風でカゴ車（縦45cm×横110cm×高さ165cm、重さ20kg）が倒れ左足小指を強打し骨折した。	39	5	80201	500~999
12	2017	7	12~13	ゴミ用のコンテナが数台並んでいるところで左手でコンテナを支え右手でゴミをコンテナの中に捨てていた時に、地面に穴があいていたため、コンテナの車輪が落ちて、コンテナが傾き、慌てて左手を引いた時に、コンテナの溝に小指をひっかけて脱臼骨折した。	39	5	10104	300~499

13	2017	6	16～ 17	カゴ車に商品を積み込んで搬送する際、カゴ車を前に押し出した時に左足が縫れ、捻って負傷した。	36	19	50101	100～ 299
14	2017	5	18～ 19	ギフトの荷物を載せたカゴテナを2人で運搬中に前側で運搬しており、誤って前輪で右足を轢いた。	54	6	80201	100～ 299
15	2017	5	10～ 11	緊急患者の入院手続きを患者と一緒にしている時、患者の状態が急変し、ストレッチャーに乗ってもらう時、患者が急に横たわり、患者の体とストレッチャーの金具が右手に挟まり負傷した。	49	7	130101	100～ 299
16	2017	5	10～ 11	ビニールハウス内を換気するために、ビニールハウスを開けようとし、ビニールを巻き上げる機械でビニールを巻き上げていた途中で取っ手が外れてしまい、ビニールを巻いたパイプが下がり、左腕の洋服の裾が巻き込まれ左手首を挟んでしまった。	23	7	90209	10～ 29
17	2017	5	15～ 16	建設機械部品の寸法不良を手直しするため、油圧ジャッキとパイプを使用し広げる作業を2人で行ない、1人はジャッキ、1人はパイプを手で持ち押さえていたところ、加圧が最大になったところでジャッキが外れ、パイプを持っていた1人がパイプと高さ調整をしていた当て木材の間に右手人差し指を挟み骨折した。	52	7	11301	30～ 49
18	2017	5	10～ 11	個人宅外構工事現場内において、電動コンクリートカッターでブロック塀を斫り作業中、カッターを滑らして左母指の付け根部分に接触して切傷した。	63	7	30309	1～9
19	2017	4	10～ 11	公園駐車場で自転車に乗りながら車を誘導後、駐車場詰所まで戻り自転車を停める直前に、後方から出庫してくる車があり、自転車のバランスを崩して左側に転倒し、左の手のひらを地面で強打した。	63	2	170209	—
				被災者は単独で、ストレートグラインダーを借りるため定盤				

20	2017	3	11~12	の総組ブロックの船底外板側で、センターエレクション部の磨き作業を行っていた作業員に近付いた。ストレートグラインダーを借りた後、ドックの建造船に向かいながら約3m離れた場所でシームをワイヤブラシにて研磨していた作業員の方を見た際、ワイヤブラシのワイヤが飛来して、被災者の目を直撃し、左目を受傷した。（ワイヤの飛来距離約3m）	23	4	11501	100~ 299
21	2017	3	3~4	冷蔵庫内改修工事において、解体した鉄骨を台車で運んでいた際、2つのうちの1つの台車から鉄骨（H鋼）が落ちて、右手中指・人差し指・薬指が挟まれて、中指・人差し指を骨折した。	25	4	30209	1~9
22	2017	3	14~15	天井クレーンを製作中にクレーンガーターを作業中に、ジャッキアップ台を少し移動した際にジャッキが落下し、左手の上に落下した。	40	4	11301	1~9
23	2017	3	6~7	荷卸しを準備している際、荷締め機を取り外しているときに強風、降雨の中で風に煽られ、荷締め機を手放してしまい、右足の甲に落下した。	48	4	40301	30~ 49
24	2017	2	17~18	廃品庫外側でカーゴ台車をたたんで運搬していた際、カーゴ台車を左足の上に倒してしまう。その後も運搬を続け、1期3F西エレベーターを出たところで再度左足の上にカーゴ台車を倒してしまい、左足を受傷した。	50	5	10101	300~ 499
25	2017	2	10~11	製本工場にてカレンダー金具の板に穴を開ける作業をしている時に誤って右手人差し指を挟んだ。	43	7	10709	10~ 29
26	2017	2	15~16	本社作業所にてアイライナー容器のバネを圧縮作業中、容器がずれたため元に戻す際に誤って圧縮機に左手小指を挟まれてしまった。爪半分を損傷（はがれ）、激痛のため身動きがとれず、現認者に至急病院へ搬送してもらった。	49	7	10805	10~ 29
				車庫内において荷締めの手直しをしている時に、レバーブロック（固縛機）をケーシング（丸い筒状のφ800の品物）				

27	2017	2	11~12	の上に置き、その下の品物を固定する作業をしている時、上に置いたレバブロック（約10kg）が滑って落ちてきたその時、手を引いたが間に合わず手の先に落ちてきて鉄板敷の荷台との間に挟まれて右手中指と薬指の先の部分を骨折した。	45	4	40309	1~9
28	2017	1	10~11	パレット積みの商品をハンドリフトを使用して昇降機の上で荷卸し作業中、昇降機から足を踏み外し、約70cmの高さから後方に転倒し仙骨部を挫傷した。	41	1	40301	10~29
29	2016	10	11~12	製品矯正工程において着脱機を使用して製品を治具パイプから抜こうとした。着脱機には類似寸法のセットカラーが装着されていた。品番変更の為、セットカラーの確認が必要であった。セットカラーの穴寸法と治具の座金の寸法があっているか確認の為、治具パイプをセットカラーの穴に差し込んだ時に手をすべらせた。治具パイプの座金が小さかった為、治具パイプが落下。左手がセットカラー穴付近にあり落下してきた治具パイプとセットカラーに左手小指を挟んだ。	20	7	170101	100~299
30	2016	10	14~15	型枠工事の解体作業中に、ベニヤ板から釘抜き機で釘を抜く作業を行っている際、誤って自身の抜いた釘が飛んでしまい、右目眼球に当たり負傷した。	49	6	30201	1~9
31	2016	9	9~10	墓地において四輪車で墓石を運搬中に、バランスを崩して墓石が左足甲の上に落下した。	64	4	10909	1~9
32	2016	9	16~17	作業所、切板の二次加工及びバリ取り作業場にて、鉄部品を加工するため、鉄部品に万力を固定し、ポータブル機へ移動しようとして万力で鉄部品を持ち上げた瞬間、しっかりと固定していたはずの万力が外れ、鉄部品が床へ落下し、左足へ倒れた。つま先部分だけをカバーする安全靴だったため、左足の甲を負傷した。	58	4	11209	300~499
			13~	タイヤの背割り機を使用してタイヤを2分割にする作業をしていたとき、切断するタイヤに左手を添えていて、背割り機				10~

33	2016	8	14	の固定部分と可動部分に左手人差し指の先を挟んでしまい負傷する。	23	7	150102	29
34	2016	7	13~ 14	作業場内にて、作業後キャスター付のミッションジャッキを元の位置に片付けようと作業場内を後ろから押して移動させていたところ、ジャッキの前輪がミツにはまってしまったので勢いをつけて乗り越えようとした。勢いをつけて一步踏み出したが前輪が外れず横方向に勢いのままスライドしてしまい、作業に使うために置いてあった別のジャッキとの間に、左指を挟み負傷した。	37	3	11701	1~9
35	2016	7	10~ 11	重さ約150kgのジャッキを洗車場にて洗浄しようと移動中、敷地内のコンクリート床の段差に左前輪が脱輪し、それを引き上げようと力を入れた時、腰を痛めた。	64	19	40301	10~ 29
36	2016	5	7~8	3tトラック整備のため、5tジャッキ使用時に、操作レバーをロックするのを忘れ、ジャッキを前後したところ操作レバーが動き、操作レバーの根元で右手薬指を挟み、骨折。	20	7	40301	30~ 49
37	2016	4	10~ 11	厨房内で配膳車に提供物を入れる作業中、配膳車の間を他の者とすれ違う時によけた者の足にあたり転倒した。	69	2	80209	10~ 29
38	2016	4	11~ 12	工場内でブロックのBOTTOM板の取付作業を行っていた。BOTTOM板側にピースを取付けし、ピースにレバーブロックをかけてすき間を引っ張っていた時に、手がすべり勢いあまって転倒しかけそうになった時にとっさに右手をついた。	58	2	11501	10~ 29
39	2016	4	9~ 10	作業所にて、長年自動車部品の表面に足踏みプレス機で数多く刻印を打ち込んだり、力の必要な圧着の作業をしていた為、足を酷使していた状況で負傷した。	45	19	11502	10~ 29
40	2016	2	11~ 12	園場にて竹ひごが強風で外れた個所を穴あけ機を使用し穴を掘り直し竹ひごを差し直す作業中、右足を踏ん張った拍子に	70	3	120109	30~ 49

				足を滑らせかかことから強打した。				
41	2016	2	14～ 15	店舗内売場にて、売場 Gondola にサイドネットを取り付ける際、サイドネットがずれ、サイドネットを持っていた左手の人差し指を Gondola とサイドネットの間に挟んでしまった。	52	7	80209	30～ 49
42	2016	2	11～ 12	工場内にあるトムソンプレス機の段取り中、刃の高さ調整のため、レバーを片手で押し上げたところ腰を痛めた。	50	19	10409	10～ 29
43	2016	2	7～8	出発前積荷の点検時、荷ズレを防止するために1箇所荷締めを追加しようとした時に、荷締め器を右足の上に落とし、負傷。	57	4	40301	30～ 49
44	2016	2	8～9	給食室の裁断機に刃をセットしようとした時、手がすべり刃を落下させてしまった。とっさに右手がでてしまい右環指と小指に刃があたった。	46	8	10109	10～ 29
45	2016	1	16～ 17	荷物の積み込み作業終了後、トレーラーシートを張る為のワイヤーを張っていた時、レバブロックをワイヤーにかけるのに失敗して、レバブロックがそのまま左手小指の上に落ち、負傷した。	43	4	40301	30～ 49
46	2016	1	18～ 19	工場内にて平面研削盤の作業中に、誤って回転中の砥石とパンチフォーマ（治具）の頂部ローラーを接触させた事により、このローラーに直結されたクランクハンドルが急旋回し、このハンドルが作業者の左眼部付近を直撃し、負傷した。	62	6	11209	10～ 29
47	2016	1	20～ 21	畜産作業場で、作業が終了し清掃中に、筋切り機を移動しようとした際、バランスを崩してまな板の上に落とし、手に当たって、右手薬指・小指に裂傷を負った。	17	4	80201	100～ 299
48	2015	12	3～4	厨房にて、朝食の準備の為作業台上のまな板で食材を切っているとき、包丁を持ち上げた際に不注意で手から離れてしまい、包丁が飛び上がり、ゴム長靴を履いていた右足に落下	61	4	80209	1～9

57	2015	8	10～ 11	被災者は次のシートパイル打設準備として、打設後のシートパイル建ち調整のため、天端をレバブロックで引っ張っていたが、レバブロックに無理な力を加えたため、手元が滑り、打設済のシートパイルの天端で右側頭部を打撲した。	33	3	30201	10～ 29
58	2015	8	16～ 17	工場内の選別ラインにて、大きな鉄の塊（ハンドリフト）を動かそうとしたところ、ハンドル部分と下の台の間に指をはさんで切ってしまった。	68	7	150102	100～ 299
59	2015	8	16～ 17	資材置き場にてゴミ捨てる為、バルティナをゴミ庫へ2人で移動中、（被災者は先頭で引っ張っていた）、通路にあった台車にひっかかりバランスを崩したが、後方者がそのことに気付かずバルティナを押していた為、被災者の左足にバルティナ（重さ30kg）の車輪が乗り上げ受傷した。	57	7	10109	10～ 29
60	2015	7	14～ 15	倉庫において、4tユニック車に仮設材を積込後、荷締めをしている際に、ラッシングベルト（荷締め道具）をしめるために、トラックのあおりの上で力をいれた時に、腰を痛めた。	39	19	40301	1～9
61	2015	7	9～ 10	伐採木をけん引するため、チルホールを設置するため、準備していたところ、背中に激痛が走り、動けなくなった。	28	19	60201	10～ 29
62	2015	7	10～ 11	足踏式裁断機による樹脂基板を裁断している現場で、注意不足により左手小指先端を負傷した。	24	7	11403	100～ 299
63	2015	6	14～ 15	長雨でゆるんだ架台を補強するために、セットハンマーを使用して地面に単管を打ち込む作業中、支えていた者が傾いて立っていた単管をまっすぐに立てようと動かしているときに、ハンマーを使っていた者が誤って振り降ろし、支えていた者の左手指にハンマーが当たり、骨折した。	26	7	30301	1～9
64	2015	6	9～ 10	2tトラックのクラッチ板の交換をするために、車の下にもぐっていた。重さ70kgのミッションを上げ下げして、組み付けをしているときにジャッキが降りてきて右中指をミッションジャッキに挟んでしまった。	33	7	11701	1～9

65	2015	6	11~ 12	板金工具?切（鋼板を切断する手動道具）を使用中、?切の切断刃（上刃）の降下ラインに鋼板を支えて送り出していた左手指先が越えてしまった為、指先を裂傷骨折。	55	7	30209	1~9
66	2015	5	10~ 11	堆肥舎でレール上を前進バックする鶏糞乾燥機の軸とコマの部分の修理のためにジャッキ2台で乾燥機を持ち上げて、機械の中にあるコマをはずしかけていたがジャッキが何かの拍子にはずれてしまい、右手をレールと機械の間にはさみ、骨折した。	79	7	70101	30~ 49
67	2015	5	7~8	地面から70cmほど高いホームからトラック荷台に商品を積み込む作業の終了後、使用したローラーをトラックから押し出しホームに移動させた際、ローラーを止めた反動で体が押し出されホームから仰向けの状態で地面に転落した。	59	1	80209	10~ 29
68	2015	5	14~ 15	手廻し3本ロールの作業中、被災者の左手が材料に乗っていたため、左手中指の爪が剥れた。	35	7	11209	1~9
69	2015	5	16~ 17	手押し丸のこ機で作業中、加工していた材木がはじかれてしまい、材木に添えていた手が勢いにまかれ丸のこ機に触れてしまい、左手の親指を負傷した。	58	8	10409	1~9
70	2015	5	16~ 17	加工場内で製品の結束作業中、鉄製バンドを左腕にからませている事に気づかず締め込み、切ってしまった。	39	7	10401	30~ 49
71	2015	3	10~ 11	ビルの窓を命綱をつけてゴンドラ（ブランコ作業）で清掃中、バランスをくずしかけゴンドラがかたむいたため、とっさからだを支えるために左手でロープをつかみ落下を免れた。その際に左手とロープの摩擦により手のひらにやけどを負った。	23	8	150101	100~ 299
72	2015	2	15~ 16	トラックからジャッキをおろす時重くて持てずに落してしまい、それが足に落ちてきた。	25	4	80204	1~9
			13~	車椅子とオープンスペースの畳へ交互に座る動作中にふらつ				100~

73	2015	2	14	きが強かった為体を支えていると「触るな」と肘で頬を殴られ反対の頬を平手打ちされた。	25	3	130101	299
74	2015	2	17～ 18	工場内の検査、梱包場所で、塗装製品の検査中、検査に使用する治具（鉄製、2kg～3kg、大きさはB5用紙程度）を足の上に落としてしまった。	22	4	11509	10～ 29
75	2015	2	16～ 17	道路工事作業中、既設コンクリートはつり作業をコンプレッサーの空気ブレーカー約5KMの重さの機械を使い作業中、H鋼の残り部とコンクリートの間に左手中指の先第1関節を挟み負傷する。	54	3	30106	1～9
76	2014	12	9～ 10	工場内製本作業場において、断裁機操作中、断裁を仕終えた後ペダルに足を掛けたままにしていた為、紙を取り出そうと前傾姿勢になった際、自然に足に力が入り、金属部品が下がってきて左手指の中指と薬指の爪部分が押えられ、損傷した。	67	7	10701	10～ 29
77	2014	11	13～ 14	菜園でスソ刈をしているとき、誤って足を滑らせスソ刈機の刃が左指に接触し左手人差し指を負傷した。	60	8	10103	10～ 29
78	2014	11	14～ 15	床に台車があることに気付かず台車に乗ってしまい転倒した。	65	2	80209	10～ 29
79	2014	11	22～ 23	店へ配送で現地作業中、空の台車につまずいてしまい手に持っていた箱の上に被さる様な状況で転倒、箱の角に左肋骨があたった。（店内は電気がついておらず、真っ暗で足元が見えなかった為。）	56	2	40301	50～ 99
80	2014	10	10～ 11	高温炉用トラバーサーを引っ張りながら移動させる時に、右足をトラバーサーに差し込む治具とトラバーサーの間に置いた状態で移動させたため、差し込み治具とトラバーサーの間に右足首を挟まれ負傷した。	40	7	10804	0
			15～	資材置場で道具の片付け作業中、レバブロック（約7k				10～

81	2014	10	16	g) が棚から落下した。棚の近くで作業していたためレバーブロックが手の上に落ちて来て不全骨折した。	41	4	30309	29
82	2014	10	19～ 20	青果作業場にてかぼちゃカッターの汚れをふき取っていた時に、不注意により誤ってカッター根元に右手薬指が触れた際に切創した（手袋は未着用）	28	8	80201	100～ 299
83	2014	10	13～ 14	大型の台車にL字型の鉄材を載せ、数人で押し進める中で工場内のコンクリート敷地の窪みに車輪をとられ、バランスを崩した台車が横に倒れた。倒れた側の側面にいた被災者の左ふくらはぎに鉄材がふれて負傷した。	26	4	11209	30～ 49
84	2014	9	21～ 22	物流センターにて、商品をトラックに積み込み中、後方ゲートのホームへの接地が不十分であった為、カゴ車の重みでゲートが斜め下に下がってしまった。その瞬間にバランスを崩し、カゴ車が倒れ、右腕が下敷きとなり、骨折した。	37	5	40301	30～ 49
85	2014	9	11～ 12	ホテルの客室清掃中に消臭機（本体50kg程、キャスター付）を移動しようとして、本体を引き寄せた際、本体下部に付いているステップ板（ステンレス製）が踵にぶつかり裂傷した。	52	6	140301	30～ 49
86	2014	8	14～ 15	断裁機の包丁を取り換える際に、誤って滑らせ右足の膝あたりに落として切ってしまった。	39	4	10701	50～ 99
87	2014	8	14～ 15	本社工場内において、鑄造品のバリ取りを足踏み操作式プレス機で行っていたが、最後の製品のプレスをするところで、終業時間も迫り焦りもあったため、通常であれば製品セット後、指定場所に両手を置いてから足踏み台に片足を乗せるのを、ほぼ同時に手足が動いてしまい、足踏みを行ってしまった。踏んでいる途中で気が付き足を離そうとしたが、勢いが残っていたためプレスが少し動き右手人差し指を挟んでしまった。	56	7	11109	50～ 99
				斜面を自走のロータリーモアで刈込を行っていた際、操作を				

88	2014	8	10～ 11	誤り両クラッチを握ってしまい、機械がニュートラル状態になった。管理道路まで機械と一緒に滑り下りてしまい、道路で頭部を強打した。	23	3	140301	50～ 99
89	2014	8	9～ 10	手動曲げ機で鉄筋の曲げ加工作業中に、最初に180度フックを曲げ、次に90度曲げ加工をしたとき、角度レバーを180度そのまま曲げ機を操作し、鉄筋と曲げ機鉄筋受金物に左手親指を挟み、左手親指を裂傷、骨折した。	48	7	11009	30～ 49
90	2014	7	19～ 20	車検整備時、リヤ軸インナーベアリング取り外しの際、ベアリングプーラーを使用し取り外したが、インナーレースがホーシング側へ残りレースを切断後、エアチゼルを用い抜き出し作業中にレースの破片が飛散し、左眼へ刺さり負傷した。	27	4	80202	10～ 29
91	2014	7	9～ 10	物流センター倉庫内で厚板積込終了後ラッシングをしていた時、荷締機のフックが外れ左耳に当たり負傷した。	53	6	40301	10～ 29
92	2014	7	11～ 12	飲食店においてパンを分割する機械にてパンを分割する為、手動でレバーを下げ、レバーが上がった勢いで機械が手前に倒れ、右足甲にあたり骨折した。	29	5	140201	30～ 49
93	2014	7	8～9	店舗入り口前にて開店準備で、麦茶入りケース（20ケース）が入ったカゴ車を動かしていたところ、カゴ車が足元のマットに引っかかり手間に引いた際、ケースが倒れて下敷きとなり、胸椎を骨折した。	52	5	80201	10～ 29
94	2014	6	18～ 19	荷締めの確認を行ったところ、少し緩んでいる箇所があり、締め機を取り換え、荷締めの確認を終了した。その後元の締め機を車体前方にある立棒を利用し、締め機を調整した。その際先端のフックが側面のフックがけから外れてしまい、外れた反動でフックが顔面を強打し負傷した。	39	6	40301	50～ 99
			9～	タイヤ交換等に使用するジャッキアップする小型ジャッキを				30～

95	2014	6	10	物置から持ち運ぶ際、手を滑らせて右足に落下させてしまった。	34	4	40301	49
96	2014	5	12～ 13	小型手動成形機でパッケージの試作品を作っていた時、左手を台に置いたまま右手でレバーを下げたため、パッケージを裁断するための鉄枠と台の間に左手中指と薬指の先端を挟み、負傷した。	54	7	10104	30～ 49
97	2014	5	9～ 10	建物の屋根でインパクトドライバーを使用してビス止め作業中、屋根の鉄破片が飛び、左目に入り負傷した。	32	4	30202	1～9
98	2014	2	10～ 11	配線工事先3階において、配線のためコンクリートの壁にドリルで穴開け作業中、右手の手袋がドリルの切先に触れ、手袋がドリルに巻き込まれた際に右手の小指を負傷した。	62	7	30301	1～9
99	2014	2	16～ 17	工場内でたんすの引き出しの底板をタッカーで固定作業中、タッカーの針が左手首に刺さった。	50	8	10501	10～ 29
100	2014	2	13～ 14	工事現場において、穿孔機のスピンドルに手袋が巻き込まれ右拇指に傷を負った。	62	7	30203	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。